

相模原市内小学校

子どもセンターなどでの活動風景



作業会風景



理科で遊ぼう会



歴史：平成 20 年から活動を開始しております。今日まで、相模原市パートナーシップ協働事業、市民ファンド「夢の芽」、「麒麟子育て応援事業」、企業、市民有志の方々の支援を得て子どもたちの自立精神を育む理科実験支援を展開しており、平成 31 年、令和 2 年は神奈川県ゆめコープよりの支援、その後、公益財団法人東京応化科学技術振興財団より支援を得て活動しております。

第 12 回 かながわ子ども・子育て支援奨励賞
第 32 回 神奈川地域社会事業賞

※ 随時、会員を募集しております。出身が理系、文系かは重要ではありません。子どもが好きなら歓迎です。一緒に活動しませんか？

※ 趣旨に賛同し、ご支援を下さる方がいらっしゃいましたら、大変ありがたく存じます。

代表： 榎本 成己

事務局住所：相模原市緑区中沢 9 6 4 番地

電話：090-2428-1832

Email: shiroyamaenomoto@dream.com

「理科で遊ぼう会」



子どもと大人のサイエンス紹介 QR コード

ねらい：社会人の知識と経験を活かし、子どもたちが物を作る喜び、発見する喜びを体験する場をつくり、子どもたちの創造性を養う支援を目的としております。

詳細はホームページへ →



HP : <http://rikadeasobou.net>

コンピューターゲームで遊ぶ
今の子どもたちに違和感を感じて
いましたが、理科の会の授業で
みせる好奇心に満ちた輝いた目を
見て安心しました

出前授業

小学校の正規授業で
行います

子ども達と間近で触れ合う
理科実験は遊び感覚で
理科に入り込めるようですね

寺子屋授業

子どもセンター、
環境情報センター、
公民館などで行います

実験に熱中する
児童を見ると
やってきた
細かい準備
作業も
良かったなあ
とハッピーな
気持ちにな
ります

作業会

第1水曜日
第3水曜日
主に大野北公民館
で行います。



- 実験や観察など自然体験型の活動を体験した児童は自己肯定的になる傾向が強いと言われています。子ども達は実体験や遊びの中から喜びを発見し、自分で考える力がつくと思っています。
- 家庭の教育環境に依らずに多くの子どもたちが実験の機会と出会えるように小学校での正規授業、子どもセンターでの授業に力を入れております。
- 会員は月2回の作業会で手作り実験教材を開発、作成、実験内容検討・検証をおこなっております。
- 授業終了後には嬉しい便りが沢山届きます。以下は極々一部です。

何が原因か考え、つきとめて
かいぜんするのが楽しかった

理科は好きじゃないけど、
理科ということを忘れて
ふりこの世界にはいりこんで
いきました

皆さんのように、優しくていねいに
分かりやすく説明できる人間になり
たいという目標ができました

電池がおもしろい物とも思わなかったけど
楽しかった。物に対しての気持ちがかわった